河内長野型文化事業（施策の体系）

市民が文化を身近に感じ、いきいきと心豊かに暮らすまち
～ひとと人がめぐりあい、感動と活力を生む河内長野型文化事業の創出～

目標1 文化を市民の誇りに

目標2 文化をまちのにぎわいに

方針1 市民が主役となる感動と創造の場づくり

1. ラブリーホールを拠点とした創造性豊かな文化に触れられる機会の提供
2. 市民が文化と出会い、にぎわい、主役となる場の創造

方針2 人と文化、ひとと人をつなぐ人材づくり

1. 多様な主体の共創を促進するコーディネート体制の整備
2. アートに関する人材育成の仕組みづくり

方針3 人の循環を深め、心豊かになる環境づくり

1. 地域課題の解決に向けた取り組み
2. 地域振興や経済活性化に向けた取り組み

方針1～3の様々な施策の効果や満足度を高めるには、発信が重要。

方針4 感動と循環が生みだす魅力の発信

1.「知るから参加へ」を促す情報発信
2. 文化行政としての市内外への魅力発信

進行管理

各施策の進捗状況、評価指標の達成状況、担当課や連携組織の所感などを毎年度調査し、評価及び検証を行います（施策の見直しも行います）。

特に子どもや働く世代等の属性ごとに、参加状況や利用実態等を分析するとともに、文化に関する連携やコーディネート等の事例を収集し、多角的に検証します。

指標	現状値（令和6年度）	目標値（令和17年度）
ラブリーホール入場者数	120,701人	160,000人
文化振興事業のべ参加者数（観客を除く）	11,822人	24,000人
文化芸術活動の満足度	3.1点（令和7年度の数値）	3.7点

河内長野市
第3期文化振興計画
概要版

令和8年3月
発行：河内長野市 成長戦略局 成長戦略部 まちのソフト戦略室 文化・スポーツ活性課
〒586-8501 河内長野市原町1丁目1-1 市役所4F
0721-53-1111
https://www.city.kawachinagano.lg.jp/

概要版

河内長野市第3期文化振興計画

市民が文化を身近に感じ、いきいきと心豊かに暮らすまち
～ひとと人がめぐりあい、感動と活力を生む河内長野型文化事業の創出～

令和8年3月
河内長野市

市民が文化を身近に感じ、いきいきと心豊かに暮らすまち

～ひとと人がめぐりあい、感動と活力を生む河内長野型文化事業の創出～

豊かな地域資源、文化の担い手となる市民、文化芸術団体やNPO、
文化と触れ合う場となる文化施設や社会教育機関などの循環を高め、文化振興を図ります。

河内長野市の文化のイメージを表したものです。文化の拠点であるラブリーホールや、文化に触れる子どもたちなど、文化は様々な生活の場面で出会うことができます。

河内長野市第3期文化振興計画は、第2期計画に掲げた理念や取り組んできた事業を継承、発展させるとともに、多様な主体と行政との協働により、本市の文化振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進する指針となり、市民の文化活動の発展と継続を図ることを目的に策定するものです。

目標① 文化を市民の誇りに

文化振興の主役は市民の皆さんです。皆さん一人一人が文化に親しみ、“推し”と出会えるなど、文化を身近に感じ、感動を循環させ、シビックプライドの醸成を図ります。

目標② 文化をまちのにぎわいに

文化をまちのにぎわいへつなげます。福祉、教育、観光産業、地域経済といった様々な場面で、市民の皆さんの文化活動を活かし、ワクワクするつながりがあふれるまちの実現を目指します。

方針① 市民が主役となる感動と創造の場づくり

市民の文化的な環境への満足度の向上と、市民が主体的に文化活動に参加し創造的な力を発揮することを促します。

方針② 人と文化、ひとと人をつなぐ人材づくり

異なる分野の連携を深め、共創することにより、新しい価値を生み出し、文化活動の醸成を図ります。

方針③ 人の循環を深め、心豊かになる環境づくり

市民の文化活動を地域社会に活かし、まち全体に活力があふれ、ワクワクするつながりがあふれるまちの実現を目指します。

方針④ 感動と循環が生みだす魅力の発信

ターゲットに応じたアプローチの方法を工夫し、多様な媒体の活用やストーリー性のある情報発信に取り組みます。